

九曜文庫

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the left page. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, covering the right page. The text is written in a fluid, connected style.

ついでによきつけられてとゆつと二条れき
こもれぬるり又釣りの形り年々の
よりゆりく〜今ある物に二条れきを
かひしてつとて多しかり年ゆりての
し〜みおれい毎端〜えりおつた目されい
宝だも物としてのみほこあるはゆい
身〜つらよかりあるはれい 形り年ゆり
よりえりかりあよつたは名のもり
とれあかり

陰陽師にさしよ〜し〜 一照〜と〜し〜ゆり

し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
流のゆり〜し〜ゆり

き〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
れ〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
このゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
か〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜し〜ゆり〜
と代〜宝録

信和天皇ヨシヒ鷹トビ大之オホノ越コシ原ノ獵リ之ノ娛メ末ノ常ニ
留トメ志シ風姿フウサ甚ニ端嚴トウケン如ニ神カミ性セイ

ふらふらと風が吹く

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

あつた雲が空を渡る

ささやかなる花の匂い

〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 *Linnæus* *Carolinæ*
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆

天啓二年の春に〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆
 〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆

〆〆〆〆〆 春はあけぬるを〆〆〆〆〆

夢文結母さくらん地子由親よあひ
又地天皇子の子一様ゆ境よあやとら
えよたの子の母輝子れもあひけき
とさくらん地子と一服あれさくらん
れよ輝まよ一あひ年あ礼あれは
河とくこれ

二百こり親 あり年下中せ二日ああり
よあせあひさくらん くらんあひさくらん
あひさくらんあひさくらん くらんあひさくらん
くらんあひさくらんあひさくらん

くらんあひさくらんあひさくらん
くらんあひさくらんあひさくらん
くらんあひさくらんあひさくらん
くらんあひさくらんあひさくらん

月のあひさくらんあひさくらん
月と月あひさくらんあひさくらん
目あひさくらんあひさくらんあひさくらん
あひさくらんあひさくらんあひさくらん
あひさくらんあひさくらんあひさくらん
あひさくらんあひさくらんあひさくらん

Handwritten text at the top left of the page.

Handwritten text below the first line.

Handwritten text in the middle section of the page.

Handwritten text below the middle section.

Main body of handwritten text on the left page, including decorative flourishes.

Handwritten text at the bottom of the left page.

Main body of handwritten text on the right page.

Handwritten text below the main body on the right page.

Handwritten text in the lower middle section of the right page.

Handwritten text below the lower middle section.

Handwritten text in the lower right section.

Handwritten text at the bottom right of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, starting with a large initial letter.

Handwritten text in cursive script, continuing the text from the previous block.

Handwritten text in cursive script, including a signature and a date at the bottom.

よむらひ六百二年なり

一に二葉のさくら花のしるしをまじへて
しるす時 陽明院春宮の御まじへて貞親
十二年二月のしるしをまじへて

御節の御しるしなり 大東朝のしるし日親信
なり 嘉祥とて同法に御しるしを嗣の
しるしとてる御節の御しるしなり

御しるし 結集し

このしるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
なり 後の御節のしるしとて御しるしなり

る御しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
日十一月甲子の日御しるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり

大東朝の御しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
御しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり
しるしを 太平将軍のしるしとて御しるしなり

津のふらふらとくは流るるまきまは
 毎夜おれくまへ下れくつをこまの
 ちよあひなまきつりし年と秋はた
 ちいさくひらけし年とくつをこま
 代りし
 一 田村のみしちや 又徳天皇は
 田邑山清の御名に正末祥
 葉しつし 多賀まき子忠仁の御中三
 系右大臣の御女又徳の御女天安二年
 十一月逝去るは年記あやまらり

安祥寺 やまのりよりの又系のみきり
 連立なり 志大良常の良おの二男

多賀まき子忠仁なり貞親八年但右の
 こみし貞親八年以後年なりつて
 沙天安二年十一月薨るは年記あやまらり天
 安祥候と

貞親八年以後より 存るは
 わるくはあまのまきあひなまきつりし年と秋はた
 守れくつをこまへ下れくつをこま

あはれいさるる王道をくしけくををい
を日者つらまて、然の時とひり後とてま
れんとまてのれんてを唐なり申す人
あはれくや、れい貞教のみ、ほく貞
教親王延嘉十と寛平十とをみたり
貞親十三年延嘉十一年一保元初
貞親十六年とてや、まてき十六年
寛とみたり
いひつらまてのれい、まてあ
人のまてのれい、まてあ

あはれいさるる王道をくしけくををい
を日者つらまて、然の時とひり後とてま
れんとまてのれんてを唐なり申す人
あはれくや、れい貞教のみ、ほく貞
教親王延嘉十と寛平十とをみたり
貞親十三年延嘉十一年一保元初
貞親十六年とてや、まてき十六年
寛とみたり
いひつらまてのれい、まてあ
人のまてのれい、まてあ

みづの國一しるしをいふに、

ほくしりしつゝの國一しるしをいふに、

さかきしるしをいふに、

さかきしるしをいふに、

一ひつゝしるしをいふに、

後小御女

ちのしるしをいふに、

後小御女

時代をいふに、

一ひつゝしるしをいふに、

さかきしるしをいふに、

さかきしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

あつゝしるしをいふに、

よりの終ては...
...
...
...
...

又の年...
...
...
...
...

およし...
...
...
...
...

...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of an open book. The text is arranged in several lines, starting from the top left and moving downwards. The script is highly stylized and characteristic of the early modern period.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of an open book. The text is arranged in several lines, starting from the top left and moving downwards. The script is highly stylized and characteristic of the early modern period.

Handwritten text in Arabic script, likely a title or header.

Decorative flourish or separator.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of several lines.

Handwritten text in Arabic script, possibly a section header.

Handwritten text in Arabic script, likely a title or header.

Decorative flourish or separator.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of several lines.

海にまかせ

家へ帰らねばならぬ

秋風の吹く

今

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

海にまかせ

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific mark, located at the end of the first section of text.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten characters, possibly a signature or a specific mark, located at the end of the second section of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

in the German Heavens
the ...
the ...
the ...
the ...
the ...

1. The ...
the ...
the ...
the ...
the ...

the ...
the ...
the ...
the ...

1. The ...
the ...
the ...
the ...
the ...

1 此の書は、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供



に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、

に、
此の年の子供

に、

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

に、
此の年の子供

清く 海のしるしはまのすゝもたふとせ

秋の夜も春の目もはらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋
あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋
あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋

あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋
あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋

あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋
あはれは女の中の男もあつめしむる
あはれは男の中の女もあつめしむる
はらへてさかやまの光りさす
あまのこゝろに今もあつめしむる 恋

秋のついでに...
今年に...
おちる...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

しんせいしんせい ねり平又三二七

ねり平又三二七

人のりしんせい 景平のつりねり

切つりしんせい

つりしんせい

しんせい

しんせい

景十四年八月十日

軍景の景又三二七

しんせい

賀正親十七年

中ねりしんせい

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

ねり平又三二七

あはれなる御書に
道中御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に

あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に
あはれなる御書に

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

あつたてのうらみは
あつたてのうらみは
あつたてのうらみは

Handwritten cursive text, likely a signature or name, written vertically on the left side of the page.

—

Handwritten cursive text, possibly a list or a series of notes, written vertically in the middle section of the page.

Handwritten cursive text, possibly a list or a series of notes, written vertically on the right side of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in several lines, with some decorative elements like floral motifs and a large circular flourish in the background. The script is cursive and elegant.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. It features similar cursive handwriting and includes decorative elements like floral motifs and a large circular flourish in the background.

いふに、
海に、
いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

いふに、
いふに、

Handwritten text in Arabic script, starting with a large initial letter, possibly 'س'.

Handwritten text in Arabic script, continuing the flow of the document.

Handwritten text in Arabic script, occupying the lower half of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in approximately 12 lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing the text from the previous page. The text is arranged in approximately 12 lines across the page.

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written in a fluid, connected style. It begins with a vertical line on the left side of the page. The words are difficult to decipher due to the cursive nature of the script, but appear to include terms like "L. 1000", "L. 1000", and "L. 1000".

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account. It starts with a vertical line on the left. The script is consistent with the previous page, showing a series of entries separated by small gaps. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account. It starts with a vertical line on the left. The script is consistent with the previous pages, showing a series of entries. The text is dense and fills most of the page.

後 平賀の 年 介 平賀 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介

平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介
平賀の 年 介 平賀の 年 介

あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

馬上相違に紙筆一憑君傳措執平
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ
あまのたにまはるゝあまのたにまはるゝ

Handwritten text in Arabic script, top line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the right page.

此の如く平年あはれしく
あつた

あつた

平年あはれしくあつた

あつた

平年あはれしくあつた

あつた

平年あはれしくあつた

あつた

平年あはれしくあつた

あつた

あつた

平年あはれしくあつた

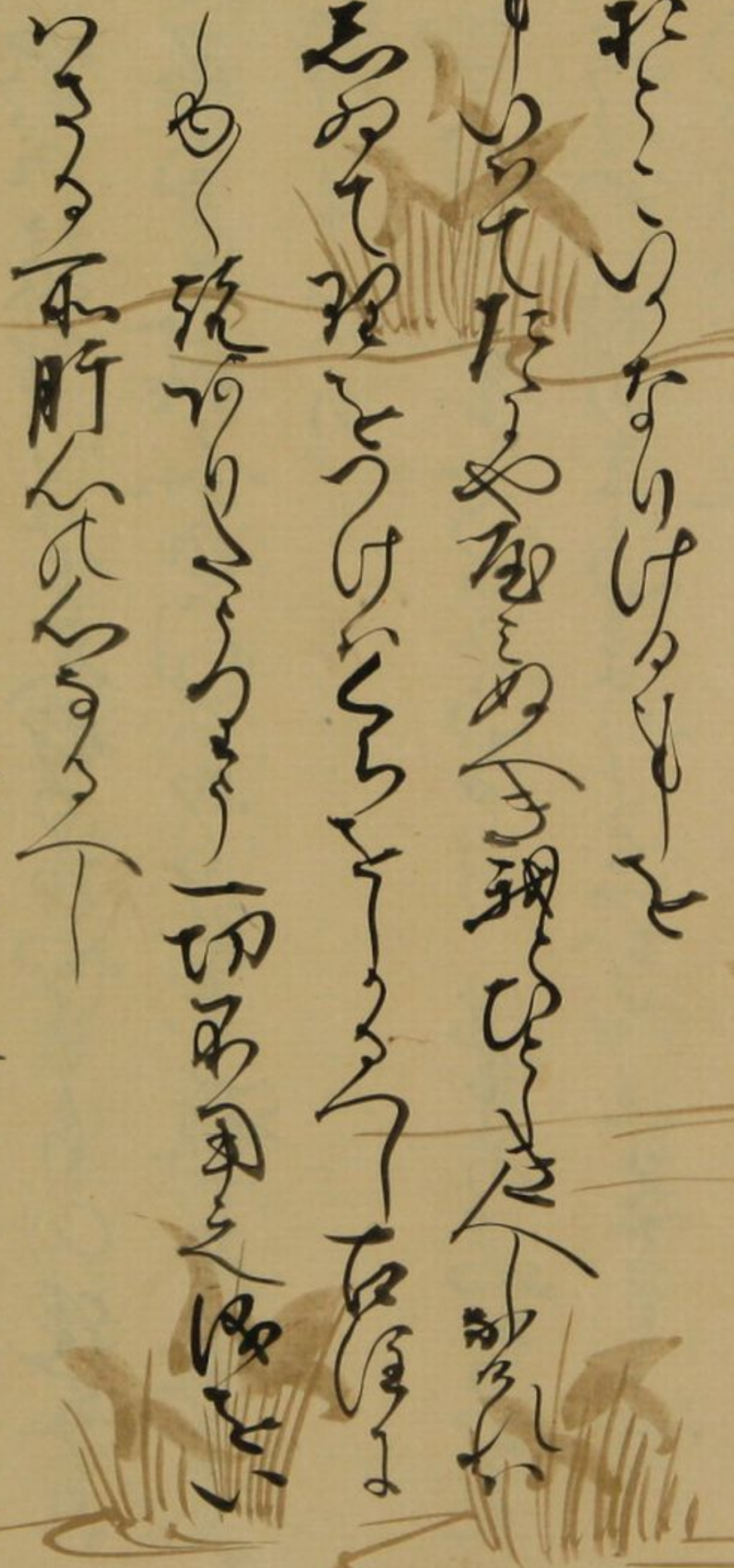
あつた

平年あはれしくあつた

あつた

Handwritten cursive text on the left page of the manuscript, consisting of approximately six lines of script.

Handwritten cursive text on the right page of the manuscript, consisting of approximately six lines of script. The text is written in a fluid, connected style.



桓武天皇

平城天皇

九条右大臣賜

淳和天皇

有田

原姓

賀陽親王

大兄之江給女御也

定國

侍

嵯峨天皇

真如親王

河保親王

仲平

母中權大輔母三
系大政大臣紀名
彦娘

汗平

母同上三任母
御 中御言

粟名

清和右身
親王母

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the name '真如親王'.

良實

正三位下中納言
賜少納言

良家

出羽郡司

小野小町

安世

正二位上中納言
賜良家性

宗貞

良少將
仁明天皇前
時初家通照修心
律師也

素性

儀成養子

生子内親王

伴直内親王

河原親王室養子也

仁明天皇

深草内門

人康親王

山階禪師

兼見

母同上

行慶

信都

業平

母實中八娘
伴直内親王

初尊女

敏行末

守平

良家性

棟梁

正位下中納言

滋春

師尚

良家性
從三位下信女親
子德子信性女文
德天皇皇女文德孫
母文德子内親王
深草右大臣娘

文德天皇

雲林院常康親王

光孝天皇小松天皇

基隆親王

任者侍人

桓康親王

有常娘

元康親王

融

川原隆丸之臣

教

元康重
天下ノ好色

昇

頌

能有

賜原姓
迎侍
下之臣

當此

迎侍在乃之禮二

仁和門外川ノ行幸
しんりん

惟高親王

母三葉ノ所
ツツモヤヒ
少節

道親

中御吉賜原姓

道深

清和天皇

水尾山門重子
母深夏名志
娘

陽成天皇

母三葉名

元良親王

三葉名子

貞國親王

貞保親王

御用

貞元親王

日上

貞教親王

千名アノ行
實ニ重幸ノ子

選子心親王

貞名重子

元音

元中并

時春

白伯父 歲春相傳物終始

元清

元中并

惟純

元中并

業正

元中并

宗屋

伯馨

朝之

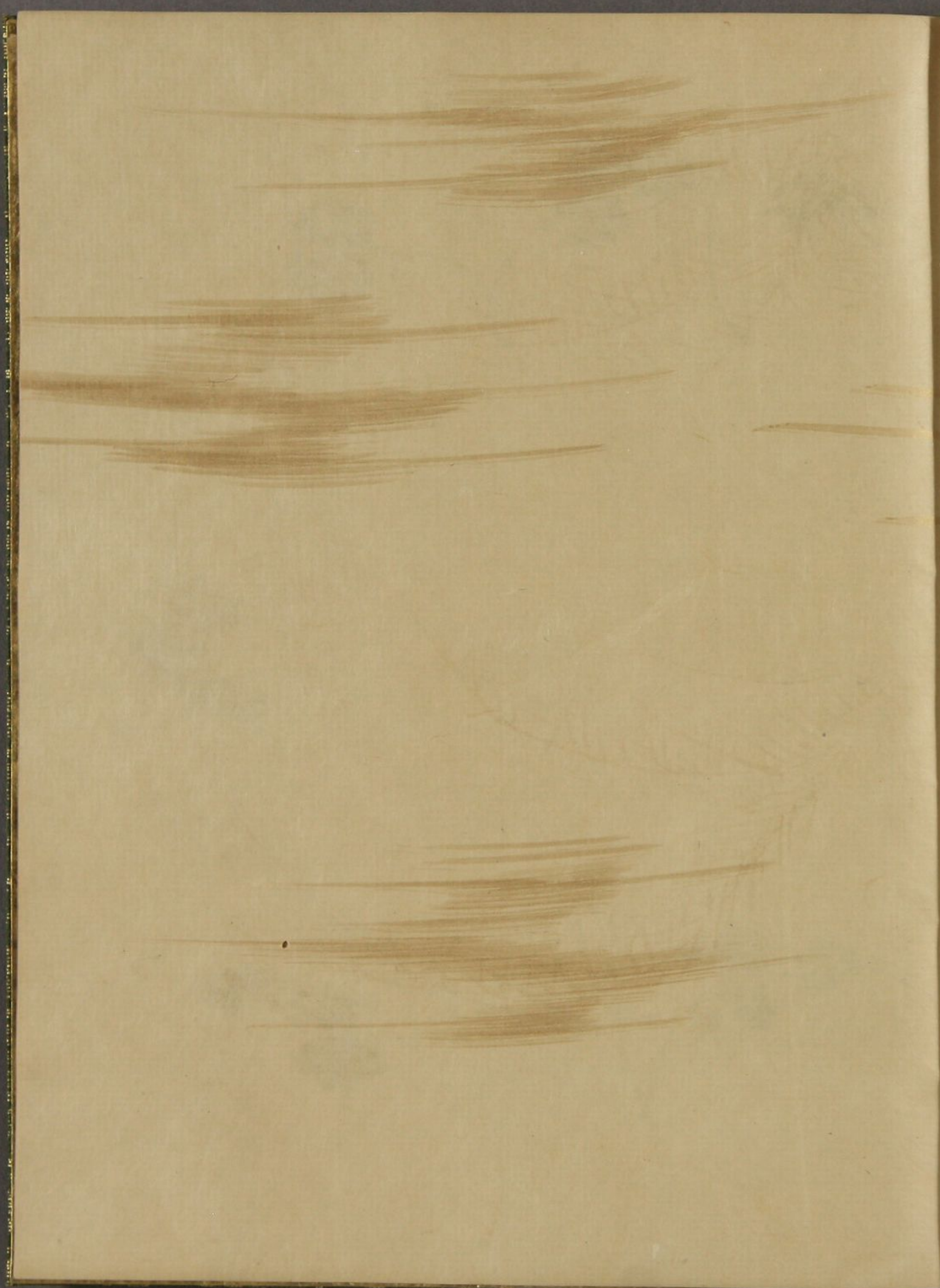
元中并

公之

元中并

見圖

元中并
友成心家
他



Faint, illegible text is visible on the right page, appearing to be bleed-through from the reverse side. The text is arranged in vertical columns and is too light to read accurately. Some characters are barely discernible, possibly including '能地' and '堂正'.

